

科目名	体育（理論）		担当教員	田中 葵		
			担当形態	単独		
テキスト	随時授業内で紹介する。	単位数 授業形態	1単位 講義	開講時期	前期	
<p><b>講義概要</b></p> <p>■到達目標■</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちと共に生活する保育者として、自身が生き生きとした生活をつくるひとりの人として、生活と体との関係について理論的に理解し説明できる。</li> <li>自分の体に必要な生活習慣を身につけ実践できる。</li> <li>子どもをとりまく生活環境と体との関係、並びに子どもたちの“体を育む”保育者の役割について理解し説明できる。</li> </ul> <p>■授業のテーマ及び概要■</p> <p>本授業は、高校までのスポーツを中心とした体育とは異なり、“体を育む”といった観点で展開します。今日、私たちが生きる日本では、私たちの体や生活習慣に影響を及ぼすさまざまなもの・ことが身のまわりに溢れています。そして、私たちは往々にしてそれらの情報や価値観に影響を受けています。したがって本授業では、まずそのような情報を知ることから、自分自身の生活を見つめ直し、そのうえで、“体を育む”視点から、保育者の役割について考えることを目的とします。</p> <p>身の回りの事象をとりあげながら講義を中心として授業は展開されますが、毎授業自分の体と向き合う時間も設け、自分自身の身体感覚を意識しながら体に対する理解を深めます。</p> <p>■授業計画■</p> <p>第1回 オリエンテーション 「体育」とは</p> <p>第2回 身体文化の変容</p> <p>第3回 生活と体の関係① 食生活（1）：食の安全</p> <p>第4回 生活と体の関係① 食生活（2）：食習慣</p> <p>第5回 生活と体の関係② 運動（1）：運動・スポーツ</p> <p>第6回 生活と体の関係② 運動（2）：生涯学習としての運動</p> <p>第7回 生活と体の関係③ 睡眠：睡眠のメカニズム</p> <p>第8回 自分たちの生活と体を考える① 実践調査レポートについて</p> <p>第9回 子どもをとりまく生活環境①</p> <p>第10回 子どもたちをとりまく生活環境②</p> <p>第11回 自分たちの生活と体を考える② 実践調査レポートの発表</p> <p>第12回 まとめ</p> <p>■準備学習■</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎授業後に、授業で取り扱われた内容について考察し、レポートを提出すること。</li> <li>実践調査、及び調査報告をレポートとしてまとめること。</li> </ul> <p>■評価方法■</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業時間毎の小レポート — 40%</li> <li>調査レポート — 30%</li> <li>まとめレポート — 30%</li> </ul>						
参考文献	自然体のつくり方 2001. (太郎次郎社) 幼児期運動指針 2012. (文部科学省) 子どものからだに危険な！—今日からできるからだづくり—2004. (日本標準) その他、授業で随時紹介する。		特記事項	毎授業体を動かしやすい服装で参加のこと。		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修		幼	第66条の6に定める科目		
			保	教養科目		